

「火の用心だより」

第124号(令和7年7月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

バーベキューは安全に行いましょう！

これから夏本番！キャンプ場や自宅などで、バーベキューを行う方も多いのではないでしょうか？「バーベキューの炭の不始末」などちょっとした不注意が原因となる火災によって、楽しいバーベキューが悲しい事故につながることもあります。

以下の点に注意して、楽しくバーベキューを行いましょう！

●バーベキューの注意点●

- ① 火の粉が飛んで周りの物に燃えうつる危険性があるため、風向きに注意する。
- ② バーベキューこんろに点火後は、ジェルタイプの着火剤の「継ぎ足し」は絶対に行わない。
- ③ こんろの付近には消火用の水を用意しておく。
- ④ 使い終わった木炭は、火消し壺に移すなどして、完全に消火したことを確認する。



絶対やめて！

【消毒用アルコールの危険性】



スマートフォンをお持ちの方は
こちらをチェック！

消毒用アルコールは火おこしのために使用しないで！

消毒用のアルコールや除菌スプレーなどは、揮発性が高く引火しやすいため、火おこしに使用すると大変危険です。また、アルコールの炎は青白いため、晴天時などは特に炎が見えにくくなります。気づかないうちに、衣服に燃え移っている場合もありますので注意してください。

消毒用アルコールなどは、「バーベキューこんろのそばに置かない！」、「バーベキューこんろの近くで手指消毒を行わない！」、「手指消毒後、すぐに火のそばに近づかない！」を徹底しましょう。

衣服に燃え移ってしまったら ストップ、ドロップ&ロール！

自分が着ている衣服に火が燃え移ってしまった時には、慌てて走っては絶対にいけません。走ることで、かえって火の勢いが大きくなります。

消火する手段がない場合は、その場に止まり(ストップ)、倒れて(ドロップ)燃えている部分を地面に押し付けて転がり(ロール)、窒息消火しましょう！



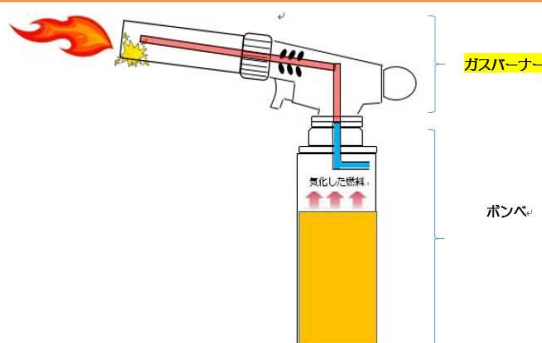
ガスバーナーの使用方法にご注意を！

ガスバーナーとは、市販のカセットボンベに取り付け、ガスを燃焼させるものです。アウトドアでの火おこしや、DIYなどで使用する方も多いのではないのでしょうか？ライターのようにすぐ点火できるもので、現在では一般家庭でも広く普及しています。

しかし、ガスバーナーから出火すると、ガスに引火しているため簡単に火を消すことができません。海外製品などで説明書も外国語表記の場合は、使用方法が理解できないこともあります。使用前の安全確認はとても大切です！必ず実施してください！

●よくある危険な使用方法●

- ① 油汚れが付着したまま使用する
- ② 大きく傾けて使用する
- ③ 変形や破損したまま使用する
- ④ カセットボンベにしっかりと接続されていない



花火の取り扱いにご注意を！

花火には、手持ちや打ち上げなど様々な種類があります。身近な存在の花火ですが、原料は火薬類です。使い方を誤ると、火傷などをしてしまう恐れがありますので、花火に書いてある遊び方、警告・注意書きをよく読みましょう！

燃えやすいもののある場所では遊ばない

ポプラの綿毛や新聞紙などに火がつくと火災となり、大変危険です。また、風の強いときは花火を控えましょう。

事前に水/バケツを用意しておく

遊び終わった花火や、途中で消えた花火は水に浸けて完全消火しましょう。また、途中で消えてものぞき込むのはやめましょう。

複数の花火に、一度に火をつけない

複数まとめて火をつけると、大きな炎になって大変危険です。また、手をもって打ち上げ花火をするのはやめましょう。

子供だけでは遊ばない

子どもだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。衣服に火が付くなど大やけどになることがあるので、大人が安全を確保してあげましょう。

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しよう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけよう
- ③ 消火器などの防災機器を備えよう
- ④ 防災品を使用しよう
- ⑤ 放火されない環境をつくりよう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りよう

発行:札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

さっぽろ市
02-N06-25-438
R7-2-332